

教員の公募について

1. 職名・人員 名古屋大学大学院国際開発研究科国際開発協力専攻^{*}担当
教授又は准教授1名
※ 本研究科では、平成30年4月から組織再編を行う。本公募に記載のある専攻名は再編後の名称である。
2. 担当分野 国際政治学又は国際関係論及び英語
3. 担当科目 (1) 国際開発研究科大学院科目（英語で行う講義科目）
 - ① 「グローバルガバナンス論」（半期15講義）及び「国際政治学」（半期15講義）
 - ② 「国際開発協力演習」Ⅰ・Ⅱ（通年30回）
 - ③ 「国際開発入門」及び「日本の開発経験」の一部を担当する可能性がある。
 - ④ その他について、個別に依頼する可能性がある。※ 以上、大学院生向けの授業
(2) 教養教育院言語文化科目
英語（春学期及び秋学期）
担当する英語（半期15講義）のコマ数は、平成30年度及び31年度は半期の科目を7コマ、平成32年度からは6コマ。学部1年生から2年生向けの授業。
(3) 学生指導
修士論文及び博士論文の研究指導
4. 業務 (1) 国際開発研究科における業務
講義、学生指導及び校務。当教員ポストには名古屋大学教養教育院における語学教育（英語）の担当があるため、研究科としては管理運営に関わる業務等の負担軽減措置を講じる予定。
(2) 教養教育院における業務
教養教育院・言語文化部門・英語部会等の会議及びFD（ファカルティ・ディベロップメント）に出席するほか、部会運営上の職務（入試責任者を含む。）を分掌。
(3) その他全学に関わる業務
5. 応募資格 (1) 国際開発を視野に置き、グローバルガバナンス論又は国際政治学の観点から研究を行ってきた者
(2) 博士号を取得していることが望ましい。
(3) 英語で講義及び学生指導を行い得る者
(4) 担当する専門分野又は関連分野に関して、大学にて教育経験を有することが望ましい。
(5) 英語を母語とする者又はそれに相当する英語能力を有する者
(6) 大学にて英語教育に携わった経験があることが望ましい。
(7) 国籍は問わない。ただし、講義、学生指導及び校務に支障のない水準の日本語能力を有する者
※ 名古屋大学は業績（研究業績、教育業績、社会的貢献、人物を含む。）の評価において同等と認められる場合には、女性を積極的に採用する。

6. 応募書類
- (1) 履歴書 (A4サイズ。写真貼付。書式は自由。ただし、生年月日、現住所、電話番号、E-mailアドレスを記入のこと。) (和文又は英文)
 - (2) 研究業績一覧 (提出する5点の業績にマークをつけること。) (和文又は英文)
 - (3) 主要著書・論文 (合計5点まで。別刷。コピーも可)
 - (4) 国際開発研究科における教育・研究に関する抱負 (和文3,000字程度又は英文1,200語程度)
 - (5) グローバルガバナンス論についての講義シラバス案 (講義の目的、講義の概要、15回の講義予定、教科書・参考書について、それぞれ英文A4版2ページ程度。)
- ※ 上記(1)～(5)の書類をそれぞれ5部作成すること。電子ファイルで提出する場合はCD-ROMに保存し、5枚作成すること。応募書類は原則返却しない。返却を希望する場合は、返信用封筒を同封のこと。切手貼付又は受取人払いであることを明記すること。
- ※ 提出書類は本選考以外の目的では使用しない。
7. 応募期限 平成29年10月10日火曜日 (必着)
8. 採用予定 平成30年4月1日
9. 選考方法
- (1) 第一次審査 書類審査
 - (2) 第二次審査 面接 (英語によるグローバルガバナンス論の模擬授業を含む。)
- ※ 面接のための旅費は支給しない。
10. 応募書類送付先
- 〒464-8601 名古屋市千種区不老町
名古屋大学大学院国際開発研究科長 伊東早苗 宛
- 封筒に「グローバルガバナンス論担当教員応募書類在中」と朱書き、(簡易)書留郵便で送付すること。海外からの発送は発送記録の残る方法で送付すること。
11. 問合せ先
- 名古屋大学大学院国際開発研究科 山形英郎
E-mail: yamagata@gsid.nagoya-u.ac.jp
研究科(GSID) HP: <http://www.gsid.nagoya-u.ac.jp/global/index-en.html>
- ※ 電話による問合せには応じない。